

## 弘法様の乳の井

全国行脚の旅をしていた弘法大師は、大同二年（八〇七）、この地に立ち寄りました。

そのとき、親切な村の人々が水がなく困っているを知った弘法大師は、持っていた杖を地に刺しました。すると、不思議なことにきれいな水が湧いてきました。

しかも、この水を飲むと、それまで出なかったお乳が出るようになったので、村人たちはおおいに感謝し、「弘法さまの乳の井」とよばれるようになりました。